

銀漢亭日録



伊藤伊那男

9月10日(木) ▼高遠句会十周年記念誌へ寄稿文八百字ほど。桃子の大学時代の友人あつこさん来宅。子息が中学から成城に入り、龍正と同期生になるという不思議な縁。

11日(金) ▼十七時半、高部務さんと京橋の明治屋に待ち合わせ。持ち込み用の白ワイン買って、「鰯藤山」。見事な魚(鮪、鰹、鰯、鳥賊……)。あと神保町の「兵六」に行き焼酎のお湯割少々。

12日(土) ▼午前中、農家の野菜買いに。午後、オンラインで第八回「千両千両井月さんまつり」。堀井正子、西村麒麟さんの講演のあとのシンポジウムで井月俳句について二十分程喋る。なかなか疲れる。「春耕」十二月号へ、山田春生句集「薫風」の一句鑑賞三百字。

15日(火) ▼農家の野菜買いに散歩。夜、神保町の「天為」発行所にて「火の会」久々。檜山哲彦、広渡敬雄、竹内宗一郎、天野小石、太田うさぎ、峯尾文世、阪西敦子。飲み物、食べ物持ち込み。「銀漢亭」跡、工事中、郵便受けを覗くと、「ピストロ天野」と。今から新規開店を目指す人がいるのは稀有。一つ隣の「ふくの鳥」は造作そのまま、越前ラーメンの看板に替わる。

16日(水) ▼朝、ふと思いついて千葉の佐倉へ。昼前、佐倉城跡に建つ国立歴史民俗博物館に入る。少しだけ見る予定が三時間半ほど見てまだ全体の半分。途中で出て、城跡を巡る。さすがに十一万石の城は広い。土塁の城。某損保会社に堀田家直系の二男さんがいたことを思い出す。日没となったので、駅前の小さな居酒屋で少酌して帰宅、二十二時。京成町屋駅のトイレに、「つまる原因と

なりますのでおにぎり等を流さないでください」の掲示あり。おにぎりの特定がすごい。

17日(木) ▼業務用スーパーへ桃子と。冷凍食品買い出し。あと「オオゼキ」で鮎、鯛の兜買う。鮎山椒煮。鯛の兜煮。里芋煮。

19日(土) ▼農家に野菜買いに行くが休み。トホホ。違う農家で大根の葉を買う。莉子(高三)の仲間三人来て、二日ほどいると。餃子を山ほど作っている。夜、近所のRさん一家も来て、大勢の食事。

20日(日) ▼清人さんより気仙沼の海山物十種ほど。岬さんより野菜沢山。近所のN家に四家族が集まる。当主の誕生祝い。栄螺、伊勢海老などあり、調理。

21日(月) ▼涼しい日和にて久々、長い散歩。つつじヶ丘(国領)泊江二万歩ほど。午後、成城仲間のYさん一家来宅。庭でバーベキューパーティー。

23日(水) ▼十二時頃、富士急ハイランドバス停。高部務氏の車の迎えを受ける。沿道で雑草の盛り合わせを購入。河口湖の別荘へ先月に続いて再訪。妹さんの家から岩魚を入手。夕食は雑草をふんだんに入れたすき焼き、骨酒など。特に骨酒は大きなコップに一人、岩魚を二匹入れるという濃厚なもの。二十二時過ぎまで夫々と京都の話など。夜は寒い。

24日(木) ▼朝食は高部さん手製のトーストサンドイッチ。これが旨い。昨日、毎日新聞夕刊に小生の記事、大きく掲載されており、「樺」の種谷良二氏、法政大学の高柳俊男先生他からメール届く。山荘の書棚に芥川龍之介全集あったので、久々に、短編を数編読む。昼、茸鍋(茸沢山、牛肉、仙台葱、芹、蕎麦)。「羽黒山全国俳句大会」の選。夜、(RYOIN)にてステキとカルパッチョなど馳走になる。戻ってワイン。

25日(金) ▼朝、高部さんのサンドイッチとコーヒ。九時半、富士吉田の北口本宮富士浅間神社まで送ってもらい別れる。建物がすべて重文という凄い神社。参拝後、火祭の街道、御師町を歩く。

雨の中。今年四月に公開となった御師旧外川家住宅を拝観。富士講の往時の活気がよく解る。これも重文。金鳥居下の西裏地区を歩く。戦後、米軍相手の盛り場。今も色濃く危うい雰囲気が残る。富士山山下宮小室浅間神社を経て下吉田駅から大月経由で帰宅。

26日(土) ▼三日留守をすると郵便物や選句稿などの整理に半日かかる。店の客だった上忠さん(秋麗)、九月十六日に逝去と。陽気な方であった。十五時、発行所にて半年ぶりの「纏句会」。出席八人。欠席投句は六人。あと運営委員会。二十一時過ぎ、近くの「トミエグリル」にてワインで懇談。

27日(日) ▼昼、武蔵野探勝句会の招きで平林寺吟行。天気良し。知恵伊豆の墓所、業平塚など巡ったあと、寺の外縁を一周。十六時、五句出句して解散。選句は追って。

30日(水) ▼十時半、高尾駅。伊那北会の古城巡り。今日は八王子城跡。後北条家の支城で秀吉により落城。堅牢な山城で標高差三百米以上はありそう。登山！下の御主殿地は復元されていて見所。日本百名城に入っている。高尾駅近くの居酒屋で酒盛りをして解散。

10月1日(木) ▼隣家の金木屋が句い始める。「奥の細道全国俳句大会」の選。一般の部、五二五句、子供の部一九八一句あり。昨日、高尾の農家で買った里芋、谷中生姜など調理。

2日(金) ▼インフルエンザ予防接種を受ける。銀行、買い物その他雑用。慧星集評仕上げて十一月号の業務終了。石鍋みさ代さん(「春

耕(同人)より、夏に続いて今度は結城紬の着物一式(ご主人のために作ったが一度も袖を通していないと)到来！何とも有難いこと。

5日(月) ▼久々、神保町駅。郵便局にて銀漢の資金移動など。今年は資金繰りタイト。「ランチョン」で少酌す。

6日(火) ▼東武鉄道寄居駅へ。伊那北会で鉢形城跡へ。後北条家の支城で荒川と深沢川を利用した要害。よく整備復元している。四百数十年前の興亡の地。川越に出て天保年間創業という饅店「川越いちのや」にて少酌。白焼佳し。後、夜の時の鐘を見て散歩。二軒ほど飲み歩く。

7日(水) ▼伶俐輔君、十歳の誕生日。本人の希望で桑名から取り寄せた蛤で鍋。他に鮎、蛸の刺身。最後の雑炊はとろろ昆布など入れてみたら見事！これは私の技。「街」誌同人評二回目執筆。

9日(金) ▼数日来、台風接近で雨が続き、散歩できず。角川「俳句」十二月号、「冬・新年の季語入門」の原稿にとりかかる。「銀漢」十一月号の校正。全部読むので集中力を要す。「銀漢」の原稿も書く。

12日(月) ▼十一時、発行所。皆川丈人さんが盤水先生の第一句集『積荷』他を持参して下さる。武田さんと三人で「トミエグリル」でハンバーグステーキランチ。あと神田川沿いを散策し、芭蕉の関わった上水樋の跡など見る。十五時、日暮里「夕焼け酒場」政三さんと三十一日の「銀漢亭の日」のメニュー他打ち合わせ。十七時、神保町の立ち飲み酒場「魚勝」、三回目になるのか。つまみが実に良い。鯛、蛸、鮎の刺身。海老の天麩羅。ついつい日本酒を四合ほど飲んでしまう。